

LEA D-RLC-10K は、LEA CONNECT SERIES のボリュームコントロール用 アナログ・ポテンショメータです。

注意

D-RLC-10K は、CONNECT SERIES の GPIO 機能付き製品にのみ対応しています。アンプ背面の「Remote ON/OFF」端子に「GPIO」と記載されている製品にのみ対応しており、「I/O」と記載されている製品には対応していません。

D-RLC-10K は、配線によって個別チャンネル操作 / 複数チャンネル操作のいずれかに使用できます。

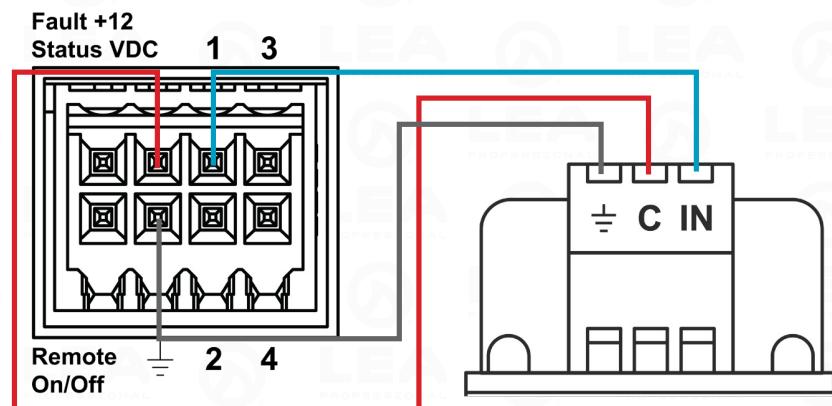


GPIO 配線図

個別チャンネル ボリュームコントロール用配線図

チャンネル1

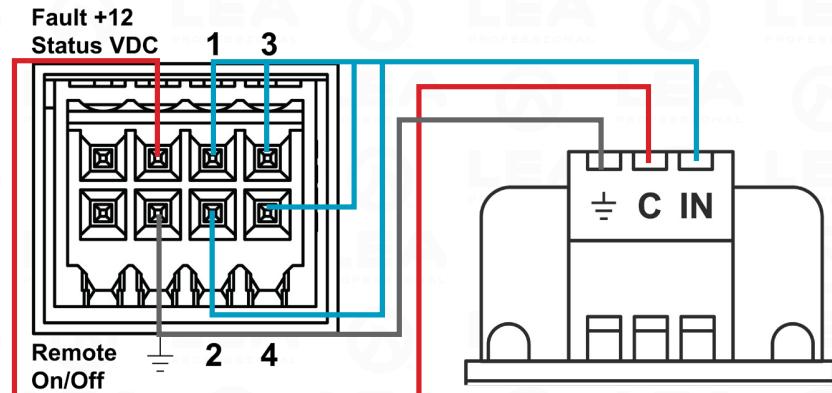
ボリュームコントロール配線を示しています。



複数チャンネル ボリュームコントロール配線図

チャンネル1/2/3/4

1台の D-RLC-10K とボリュームコントロール配線を示しています。

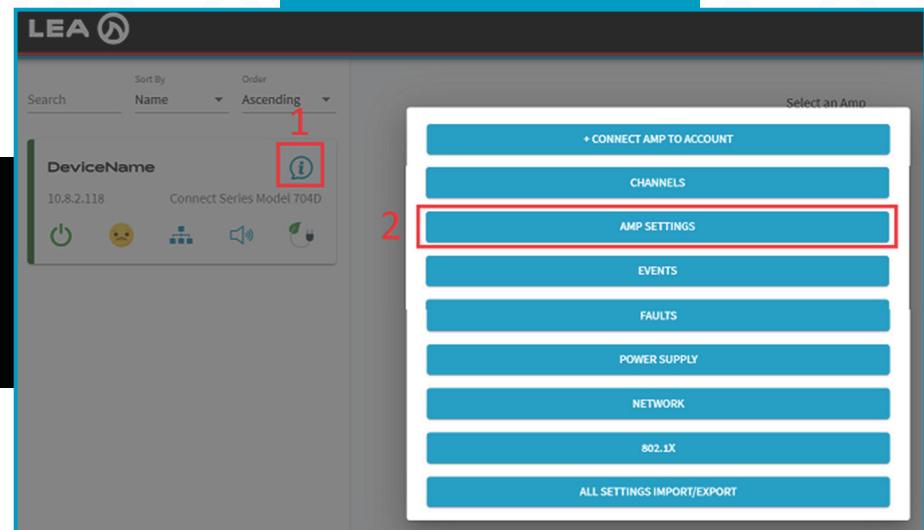


ソフトウェア構成

注意

必ず最新のファームウェアを使用して下さい。最新のファームウェアファイルは、次の URL からダウンロードできます。
<https://leaprofessional.com/downloads/>

「AMP SETTINGS」を選択



「GPIO Ports」までスクロールし、ドロップダウンから選択

GPIO Ports

Port	Mode	Behavior
1	Remote Volume Control - Out...	Normally Open
2	Remote Volume Control - Out...	Normally Open
3	Off	
3	Input - Manual Override CH4	
4	Remote Volume Control - Output Attenuation - CH4	

- 「GPIO Ports」までスクロールする
- 3 - リモートボリュームコントロール用に構成したいチャンネルとポートを選択する。
 - Port 1 – チャンネル 1 リモートボリュームコントロール
 - Port 2 – チャンネル 2 リモートボリュームコントロール
 - etc..
- 1 台の D-RLC-10K で複数のチャンネルをコントロールする場合、コントロールしたいチャンネルとポートを選択したあと、GPIO 端子と対応するポートを配線します。